

第81回 簿記実務検定第 1 級試験問題

会 計

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	定 期 預 金	売買目的有価証券
備 品	備品減価償却累計額	子 会 社 株 式	買 掛 金
未 払 金	社 債	退 職 給 付 引 当 金	資 本 金
資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	減 債 積 立 金	繰越利益剰余金
有 価 証 券 利 息	仕 入 割 引	有 価 証 券 売 却 益	固 定 資 産 売 却 益
売 上 割 引	有 価 証 券 売 却 損	創 立 費	株 式 交 付 費
固 定 資 産 売 却 損	子会社株式評価損		

- a. 宮城商店に対する買掛金 ¥750,000 の支払いにあたり、支払期日前のため、契約によって2%の割引を受け、割引額を差し引いた金額は小切手を振り出して支払った。
- b. 売買目的で保有している栃木工業株式会社の社債 額面 ¥50,000,000 のうち ¥15,000,000 を額面 ¥100 につき ¥96.80 で売却し、代金は端数利息 ¥130,000 とともに小切手で受け取った。ただし、この額面 ¥50,000,000 の社債は当期に額面 ¥100 につき ¥96.70 で買い入れたものであり、同時に買入手数料 ¥40,000 および端数利息 ¥180,000 を支払っている。
- c. 茨城商事株式会社（決算年/回）は、第7期初頭に備品を ¥1,250,000 で買い入れ、この代金はこれまで使用してきた備品を ¥400,000 で引き取らせ、新しい備品の代金との差額は月末に支払うことにした。ただし、この古い備品は第3期初頭に ¥960,000 で買い入れたもので、耐用年数8年、残存価額は零（0）とし、定額法によって毎期の減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。
- d. 従業員全商花子が退職し、退職一時金 ¥7,000,000 を定期預金から支払った。ただし、退職給付引当金勘定の残高が ¥8,500,000 ある。
- e. 青森物産株式会社は、実質的に支配している南興業株式会社の財政状態が悪化したので、保有する同社の株式150株（帳簿価額 ¥11,700,000）を実質価額によって評価替えした。なお、南興業株式会社の資産総額は ¥39,000,000 負債総額は ¥32,000,000 で、発行済株式数は200株（時価の把握がきわめて困難な株式）である。
- f. 山形産業株式会社は、社債 ¥14,000,000 が満期となったので、小切手を振り出して償還した。なお、取締役会の決議により減債積立金 ¥14,000,000 を取り崩した。
- g. 北海道商事株式会社は、設立にさいし、株式200株を/株につき ¥130,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、払込金額のうち、資本金に計上しない金額は、会社法に規定する最高限度額とした。なお、設立準備に要した諸費用 ¥1,960,000 は小切手を振り出して支払った。

2 次の各問いに答えなさい。

(1) 神奈川商事株式会社の下記の資料によって、

① 第7期末の次の金額を求めなさい。

a. 利益剰余金合計 b. 流動資産合計

② 次の文の のなかに適当な比率を記入しなさい。また、{ } のなかから、いずれか適当な語を選び、その番号を記入しなさい。

当座比率により即時の ア {1. 販売能力 2. 支払能力} を判断すると、第7期の78%に対して、第8期は %となり、一般に望ましいとされている100%を超えた。しかし、自己資本比率を調べてみると、第7期は %、第8期は30%である。よって、改善はされているものの、一般に望ましいとされているのは50%以上であるので、エ {3. 財政状態 4. 経営成績} に不安がある。

また、固定資産の期末残高と売上高により固定資産回転率を調べてみると、第7期の1.6回に対して、第8期は 回であり、固定資産の利用状況が カ {5. 良く 6. 悪く} なっている。

これらのことから、神奈川商事株式会社は、固定資産を減少させて、当座資産を増加させていることがわかる。

資 料

i 第7期の貸借対照表

貸 借 対 照 表			
神奈川商事株式会社		平成26年3月31日	
		(単位：円)	
資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	310,000	買掛金	()
受取手形	106,000	未払法人税等	20,000
売掛金	208,000	社 債	345,000
商 品 ()	()	長期借入金	450,000
前払費用	4,000	退職給付引当金	385,000
建 物	648,000	資 本 金	600,000
備 品 ()	()	資本準備金	50,000
土 地	555,000	利益準備金	30,000
関係会社株式	180,000	別途積立金	10,000
長期貸付金	200,000	繰越利益剰余金	80,000
	()		()

ii 第7期の損益計算書に関する金額

売 上 高 ￥3,080,000
当期純利益 ￥ 66,000

iii 第7期の財務比率

固 定 比 率 250%
総資本利益率 2.4%
(当期純利益による)

iv 第8期の株主資本等変動計算書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書								
神奈川商事株式会社		平成26年4月1日から平成27年3月31日まで					(単位：円)	
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金			純資産合計	
		資本準備金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 繰越利益剰余金 合 計		
当期首残高	600,000	50,000	()	30,000	10,000	80,000	()	770,000
当期変動額								
剰余金の配当				5,000		△55,000	△50,000	△50,000
別途積立金の積立					4,000	△4,000	——	——
当期純利益						60,000	60,000	60,000
当期変動額合計	——	——	——	()	()	()	()	()
当期末残高	()	()	()	()	()	()	()	()

v 第8期の貸借対照表

貸借対照表			
神奈川商事株式会社		平成27年3月31日	(単位:円)
資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	819,000	買掛金	742,000
受取手形	101,000	未払法人税等	18,000
売掛金()		短期借入金	90,000
商品	218,000	社債	346,000
前払費用	5,000	長期借入金	360,000
建物	315,000	退職給付引当金	264,000
備品	285,000	資本金	600,000
土地	190,000	資本準備金	50,000
関係会社株式	180,000	利益準備金()	
長期貸付金	200,000	別途積立金()	
		繰越利益剰余金()	
	()		()

vi 第8期の損益計算書に関する金額

売上高 ¥3,159,000
当期純利益 ¥ 60,000

- (2) 岩手商店の割賦販売に関する資料から、回収基準を採用した場合の売上総利益を求めなさい。なお、割賦販売は当期から開始した。

資 料

- i 当期割賦販売高 ¥3,720,000 (原価 ¥2,976,000) なお、24回の均等分割払いで販売している。
- ii 当期において5回分の割賦金を回収している。
- (3) 秋田商事株式会社は、平成27年3月31日に北商事株式会社の発行する株式の70%を 100,000 千円で取得し支配した。取得日における北商事株式会社の貸借対照表は次のとおりである。よって、投資と資本の相殺消去仕訳におけるのれんの金額を求めなさい。ただし、北商事株式会社の資産と負債の時価は、土地が 23,000 千円であるほかは帳簿価額に等しいものとする。

貸借対照表			
北商事株式会社		平成27年3月31日	(単位:千円)
現金預金	90,000	買掛金	60,000
売掛金	72,000	資本金	97,000
商品	15,000	資本剰余金	10,000
土地	18,000	利益剰余金	28,000
	195,000		195,000

3

次の各文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- a. 通常の営業取引で生じた ア や買掛金などの債務を流動負債とするのは、 イ によるものである。
- b. 企業会計審議会により1949年に設定された ウ は、わが国の重要な役割をはたしてきた会計基準である。その後、1990年代後半から国際会計基準に合わせる動きが強まり、新たな会計基準が相次いで設定されてきた。また、2001年から会計基準は民間組織である エ により設定されている。

1. I F R S 2. 支払手形 3. 企業会計基準委員会 4. 企業会計原則
5. / 年 基 準 6. 財 務 省 7. 売 掛 金 8. 借 入 金
9. 会 社 法 10. 営業循環基準

4

福島商事株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項によって、

- (1) 報告式の損益計算書を完成しなさい。
- (2) 報告式の貸借対照表（資産の部）を完成しなさい。

ただし、i 会社計算規則によること。

ii 会計期間は平成26年4月/日から平成27年3月3/日までとする。

元帳勘定残高

現金	¥ 289,000	当座預金	¥ 1,473,000	受取手形	¥ 2,700,000
売掛金	2,524,000	貸倒引当金	26,000	売買目的有価証券	1,680,000
繰越商品	3,104,000	仮払金	3,000,000	仮払法人税等	948,000
備品	2,400,000	備品減価償却累計額	600,000	土地	2,616,000
特許権	1,505,000	子会社株式	2,560,000	支払手形	1,900,000
買掛金	2,059,000	借入金	2,800,000	退職給付引当金	1,426,000
資本金	9,000,000	資本準備金	800,000	利益準備金	545,000
新築積立金	1,000,000	別途積立金	260,000	繰越利益剰余金	293,000
売上	67,800,000	受取地代	408,000	受取配当金	96,000
仕入	47,125,000	給料	6,654,000	発送費	1,653,000
広告料	2,680,000	支払家賃	3,120,000	通信費	1,540,000
保険料	360,000	租税公課	350,000	雑費	137,000
手形売却損	75,000	固定資産除却損	520,000		

付記事項

- ① 売掛金のうち ¥24,000 は、西商店に対する前期末のものであり、同店はすでに倒産しているので、貸し倒れとして処理する。
- ② 仮払金 ¥3,000,000 は、建設中の本社建物に対する建設代金の一部である。なお、この建物はまだ完成していない。

決算整理事項

a. 期末商品棚卸高	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	原価	正味売却価額
A 品	3,400個	3,400個	@¥800	@¥950
B 品	960〃	700〃	〃〃500	〃〃400

ただし、棚卸減耗費および商品評価損は売上原価の内訳項目とする。

- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

- c. 売買目的有価証券評価高 売買目的で保有する株式は次のとおりである。

	株数	/株の帳簿価額	/株の時価
甲運輸株式会社	25株	¥44,000	¥49,000
乙建設株式会社	20〃	〃29,000	〃26,000

- d. 備品減価償却高 定率法により、毎期の償却率を25%とする。

- e. 特許権償却高 特許権は、前期首に ¥1,720,000 で取得したものであり、取得のときから8年間にわたって定額法によって償却している。

- f. 保険料前払高 保険料 ¥360,000 は、平成26年4月/日から3年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。

- g. 利息未払高 ¥ 35,000

- h. 退職給付引当金繰入額 ¥ 429,000

- i. 法人税・住民税及び事業税額 ¥1,092,000

第81回 簿記実務検定 1級 会 計 [答 案 用 紙]

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

2

(1)

①

a	利益剰余金合計 ㄱ
b	流動資産合計 ㄱ

②

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
	%	%		回	

(2)

売上総利益 ㄱ

(3)

のれんの金額	千円
--------	----

3

ア	イ	ウ	エ

2
得点

3
得点

(1)

損 益 計 算 書

福島商事株式会社 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

I 売 上 高

67,800,000

II 売 上 原 価

1. 期首商品棚卸高

3,104,000

2. 当期商品仕入高

()

合 計

()

3. 期末商品棚卸高

()

4. ()

()

5. ()

()

()

売 上 総 利 益

()

III 販売費及び一般管理費

1. 給 料

6,654,000

2. 発 送 費

1,653,000

3. 広 告 料

2,680,000

4. 貸倒引当金繰入

()

5. ()

()

6. 減 価 償 却 費

()

7. ()

()

8. 支 払 家 賃

3,120,000

9. 通 信 費

()

10. 保 険 料

()

11. 租 税 公 課

()

12. 雑 費

()

()

営 業 利 益

()

IV 営 業 外 収 益

1. 受 取 地 代

408,000

2. 受 取 配 当 金

96,000

3. ()

()

()

V 営 業 外 費 用

1. 支 払 利 息

()

2. ()

()

()

経 常 利 益

()

VI 特 別 損 失

1. ()

()

()

税 引 前 当 期 純 利 益

()

法人税・住民税及び事業税

()

当 期 純 利 益

()

(2)

福島商事株式会社

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部**I 流 動 資 産**

1. ()	()
2. 受 取 手 形	2,700,000
()	()
3. 売 掛 金	()
()	()
4. ()	()
5. ()	()
6. ()	()

流動資産合計

()

II 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

1. 備 品	2,400,000
()	()
2. 土 地	2,616,000
3. ()	()

有形固定資産合計

()

(2) 無形固定資産

1. ()	()
--------	-----

無形固定資産合計

()

(3) 投資その他の資産

1. ()	()
2. 長期前払費用	()

投資その他の資産合計

()

固定資産合計

()

資 産 合 計

()

負債及び純資産合計

22,711,000

4
得点

	借 方	貸 方
a	買 掛 金 750,000	当 座 預 金 仕 入 割 引 735,000 15,000
b	現 金 14,650,000	売買目的有価証券 有価証券売却益 有価証券利息 14,517,000 3,000 130,000
c	備 品 備品減価償却累計額 固定資産売却損 1,250,000 480,000 80,000	備 品 未 払 金 960,000 850,000
d	退職給付引当金 7,000,000	定 期 預 金 7,000,000
e	子会社株式評価損 6,450,000	子 会 社 株 式 6,450,000
f	社 債 減 債 積 立 金 14,000,000 14,000,000	当 座 預 金 繰越利益剰余金 14,000,000 14,000,000
g	当 座 預 金 創 立 費 26,000,000 1,960,000	資 本 金 資 本 準 備 金 当 座 預 金 13,000,000 13,000,000 1,960,000

2

(1)

①

a	利益剰余金合計	¥	120,000
b	流動資産合計	¥	825,000

②

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
2	142 %	28 %	3	2.7 回	5

(2)

売上総利益	¥	155,000
-------	---	---------

(3)

のれんの金額	2,000 千円
--------	----------

3

ア	イ	ウ	エ
2	10	4	3

(1)

福島商事株式会社		平成26年4月/日から平成27年3月3/日まで		(単位：円)
損益計算書		高価		
I 売上	売上原価			
1. 期首商品棚卸高		3,104,000		
2. 当期商品仕入高		(47,125,000)		
3. 期末商品棚卸高	合計	(50,229,000)		
		(3,200,000)		
		(47,029,000)		
4. (棚卸減耗費)		(130,000)		
5. (商品評価損)		(70,000)		
売上総利益		(47,229,000)		
販売費及び一般管理費		(20,571,000)		
1. 給料	料	6,654,000		
2. 発送費	費	1,653,000		
3. 広告料	料	2,680,000		
4. 貸倒引当金繰入	入	(50,000)		
5. (特許権償却)	却	(215,000)		
6. 減価償却費	費	(450,000)		
7. (退職給付費用)	用	(429,000)		
8. 支払家賃	賃	3,120,000		
9. 通信費	費	(1,540,000)		
10. 保険料	料	(120,000)		
11. 租税公課	課	(350,000)		
12. 雑費	費	(137,000)		
営業利益	益	(17,398,000)		
IV 営業外収益	収益	(3,173,000)		
1. 受取地代金	代金	408,000		
2. 受取配当金	金	96,000		
3. (有価証券評価益)	益	(65,000)		
V 営業外費用	費用	(569,000)		
1. 支払利息	息	(35,000)		
2. (手形売却損)	損	(75,000)		
経常利益	益	(110,000)		
VI 特別損失	損失	(3,632,000)		
1. (固定資産除却損)	損	(520,000)		
税引前当期純利益	益	(3,112,000)		
法人税・住民税及び事業税	税	(1,092,000)		
当期純利益	益	(2,020,000)		

(2)

福島商事株式会社

平成27年3月3/日

(単位：円)

貸借対照表

資産の部

I 流動資産		
1. (現金預金)	(1,762,000)	
2. 受取手形	2,700,000	
(貸倒引当金)	(27,000)	
3. 売掛金	(2,500,000)	
(貸倒引当金)	(25,000)	
4. (有価証券)	(2,475,000)	
5. (商品)	(1,745,000)	
6. (前払費用)	(3,000,000)	
流動資産合計	(120,000)	
II 固定資産		(11,775,000)
(1) 有形固定資産		
1. 備品	2,400,000	
(減価償却累計額)	(1,050,000)	
2. 土地	(1,350,000)	
3. (建設仮勘定)	2,616,000	
有形固定資産合計	(3,000,000)	
(2) 無形固定資産		(6,966,000)
1. (特許権)	(1,290,000)	
無形固定資産合計	(1,290,000)	
(3) 投資その他の資産		
1. (関係会社株式)	(2,560,000)	
2. 長期前払費用	(120,000)	
投資その他の資産合計	(2,680,000)	
固定資産合計	(10,936,000)	
資産合計	(22,711,000)	
負債及び純資産合計	22,711,000	